

CILとちぎ通信

だいごう れいわ ねん がつ にちはっこう
第31号 令和 3年 2月 17日発行



2020.10.20

鬼怒川グリーンパーク



・ご挨拶	2	・「クラウドファンディング×ビジネス活用実践編」に参加しました。	9
・マルシェのイベントに行ってみて	3	・とちぎ福祉プラザに納品してきました	10
・鬼怒川グリーンパークへ！	4	・缶バッチの販売始めました	10
・～なんとか続ける事が出来ました～「ありがとうございます」	5	・箱石さんの素敵なお本が完成♪	11
・学生・若者ボランティア部隊「Vレンジャー」発足しました！	6	・防護服を寄付させて頂きました	12
・毎日が「Ok Google」^^	7	・台湾で見たバリアフリー	13
・介護保障を考える弁護士と障害者の会	7	・「自立で愉快だ宇都宮」ロゴマークの申請が通りました	16

とくていひ えいりかつどうほうじん じりつせいかつ
特定非営利活動法人 自立生活センターとちぎ

とちぎけんうつのみやししもぐりまち
〒321-0923 栃木県宇都宮市下栗町2947-8 イースタンピュア 103

でんわ
電話・FAX：028-638-2538 E-mail：ciltochigi@silver.plala.or.jp

URL: <https://www.ciltochigi.org/>



※ご挨拶※

新型コロナウイルス感染症が全国に広がり、依然として感染拡大状況が続いています。

昨年、自立生活センターとちぎでは、感染予防の為に活動が殆どできなかった1年でした。今年もコロナウイルスの状況次第で、どこまで活動ができるか分かりませんが、感染対策を行ったり、オンライン等を利用してできることから活動を続けていきたいと思っています。

今後とも障害者のエンパワーメントと権利擁護活動を通して地域で当たり前に生活できるように自立生活運動を行っていきたく思いますので、引き続きどうぞよろしくお願い致します。

自立生活センターとちぎ 代表 齋藤 康雄



あけましておめでとうございます。

本年も宜しくお願い致します。

皆さんにとって

良い年になりますように☆



無病息災を願って
スタッフが描きました★



マルシェのイベントに行ってみて

あやめ
菫 かおり

わたし ふくし くるま と かあ かいじょう む
私は福祉センターに車を止めて、お母さんと会場へ向かいました。
かいじょう いろいろ じぎょうしょ た もの う
会場では色々な事業所さんのマスクや、アクセサリ、食べ物などが売っ
ていて「みんな頑張っているんだなあ」と感じました。

ひさ ぶり の オリオン 通り は、シャッターがしまっているお店が多く感じ
たのと、自転車が多いなあと思いました。オリオンスクエアには新しく出
来てからはじめて訪問しました。コロナ感染予防のため、入り口で検温が
あり、今までとは違ってきているのを感じました。

がいしゅつ が できて いろいろ ひと あ よ 良かったと思
います。20年振りに歯科の大好きな先生に会
えてびっくりして話すことはできなかつたけれ
ど、とてもうれしかったです。

おんがく たの き ぶんてんかん
音楽も楽しくて、とてもいい気分転換になり
ました。



きぬがわ
鬼怒川グリーンパークへ！

なかやま ゆうた
中山 祐太

れいわ ねん がつ にち きぬがわ はな かんしょう
令和2年10月20日、鬼怒川グリーンパークへコスモスの花を観賞し
たきのうがたじぎょうしょ せいかつかいごじぎょうしょ みなさま い
に、多機能型事業所はーとと生活介護事業所・マーガレットの皆様と行きま
した！一気に賑やかになりました！

とうじつ かいせい よ てんき めぐ ほこう ぜっこうちよう はな かく さいこう
当日は、快晴で良いお天気に恵まれ歩行も絶好調で花に囲まれ最高でし
た！非常に歩きやすく、変わった色のコスモス達に囲まれて心トキメキそ
うになりました！

けっか ある
その結果1100メートルも歩いてきましたよ。



～なんとか続ける事が出来ました～「ありがとうございます」

しば ひろみ
柴 洋美

れいわ ねん がつ きんぞく ねん むか がつ ひょうしょう いま
令和2年の3月で勤続10年を迎え8月に表彰してもらいました。今の
かいしゃ にゅうしゃで き くろう なんがしよ ふくしかんけい
会社に入社出来るまで、とっても苦労しました。何か所かの、福祉関係の
ところ、相談に行ったり、一度、ある会社に就職しましたが上手くいか
ず、8カ月で退職になってしまいました。

そんな時に新聞の折り込みチラシに、栃木県の広報が入っていて、障害者
しよくぎょうくんれん じょうほう けいさい
の職業訓練の情報が掲載されていました。すぐにハローワークに行つて
そうたん てつづ ごじつめんだん くんれん じゆこう こと
相談、手続きをして後日面談をもらって、訓練を受講できる事になりました。



わたし とき かきぎょう ちよくせつい きぎょう
私の時は各企業さまに直接行って、その企業さまの
しごと こと くんれん う お かい
仕事をする事や、訓練を請け負った「こぶしの会」さんの
さぎょうしょ い さぎょう こと
作業所に、入れていただき作業する事をしました。

そして、受講が終わって、障害者合同面接会に行きました。1回目は、す
らくせん ざんねん すこ たいちょう くす
べて落選、残念とショックで少し体調を崩してしまいました。

また、面接の機会が巡ってきました。2回目の合同面接会で、今の会社に
ごうかく いろいろ こと やま たに くろう
合格しました。色々な事があり、山あり谷あり苦労がありました。

くろう じりつせいかつ いろいろ かつ
苦労がありました。自立生活センターとちぎさんや、色々なセンターの方
がた わたし たす
々が私を助けてくれました。

ここに、その方々に「ありがとう」の言葉を捧げます。

勤続10年 おめでとう

学生・若者ボランティア部隊「Vレンジャー」発足しました！

「Vレンジャー」は、子どもとの企画を1から作り上げる、大学生・若者ボランティアチーム。キャッチコピーは「キャンプで救う！子どもの貧困」です。親が働きづめだったり、経済的な理由から、なかなか遊びに行けない子どもたちがいます。そうした子ども達にさまざまな体験をしてもらい、「体験の貧困」をなくすために活動する令和のヒーローです。学生・若者ボランティアは現在15名です。

2019年夏から活動を始め、キャンプや川遊び、芋掘りなどこれまで5回の企画をしてきました。参加した子どもはのべ35人、ボランティアはのべ50人を超えています。

体験企画以外にも、子ども向けお便りや動画発信もおこなってきました。今後はさらに楽しい企画を考え、子どもたちの笑顔に出逢いたいと思っています。

若者ボランティアや、寄付で応援してくれる人も募集中です。一緒に子どもを救うヒーローになりましょう！

詳しくはとちぎボランティアネットワーク（028-622-0021）まで。

※ホワイトボードでヘルパーのバイトをする宇都宮大学の学生さんの中にも、Vレンジャーの隊員が3人います！

- ・子どもと一緒にする企画を考えたい！
- ・同年代の人とおもしろいことをしたい！

このような学生・若者を募集しています。

CILとちぎでは、頑張っているVレンジャーさんに、缶バッチを寄付させて頂きました。



まいにち 毎日が「Ok Google」^^

さいきん
最近のTVには、Googleアシスタントが入っていて、TVに向かって「テレビをつけて」と言うとTVがつきます。

また、これにNatureRemoと同期させると、今まで使っていた赤外線
で動く、エアコン、扇風機、照明機器、
空気清浄機なども、TVに向かって「電気を消して」と言うだけでオン、オフが

できます。もう、チャンネルは不要のすごい時代です。
手足が不自由な障害者にとっては素晴らしいです。



かいごほしょう かんが べんごし しょうがいしゃ かい 介護保障を考える弁護士と障害者の会

さいとう やすお
齋藤 康雄

しょうがいしゃ なんびょうかんじや ちいき じりつ い
障害者・難病患者が地域で自立して生きていけるように、障害者権利
じょうやく こくれん さいたく にほん どうじょうやく ひじゅん
条約が国連で採択されました。また、日本でも同条約の批准がされ、
しょうがいしゃせいどかいかく おこな げんじょう しょうがいしゃ なんびょうかんじや ちいき
障害者制度改革が行われましたが、現状では、障害者・難病患者が地域
い さまざま かべ かいごほしょう かんが べんごし
で生きていくことには様々な壁があります。この介護保障を考える弁護士
しょうがいしゃ かい ぜんこく かべ すこ う やぶ
と障害者の会 全国ネットは、この壁を少しでも打ち破ることができるよ
う、自立した生活に必要な障害者・難病患者に対するヘルパー制度利用
じかん しきゅうりょう じゅうぶん ほしょう てだす ちくてき
時間（「支給量」）が十分に保障されるための手助けをすることを目的とし
せつりつ どうじしゃだんたい かいごほしょうもんだい と く べんごし
て設立されました。当事者団体と介護保障問題に取り組んできた弁護士らが
く ぜんこくかくち ちから はっき
タグを組んで、全国各地で力を発揮しています。

11月24日には、この全国ネット8周年オンラインシンポジウムが
 開催され、藤岡弁護士による「介護保障ネットの8年」の基調報告が行わ
 れ、憲法、条約、法律の位置付けの確認と、「障害者権利条約、憲法22
 条、障害者基本法、障害者総合支援法」を通して「公的介護を受ける権
 利」は憲法上の人権であり、行政はこの人権を保障する義務があると仰
 っていました。

全国ネットが支援してきた各地の事例報告に続き、各パネルリストによる
 ディスカッションがありました。各パネ
 ラーからは、家族介護が求められること
 や、介護保険問題、重度障害者の労働、
 介護者不足、重度訪問介護の理解啓発が
 足りないとの問題点が述べられました。



上段左…参議院議員 木村英子さん

上段右…コーディネーター 藤岡弁護士

下段左…渡辺一史さん（ノンフィクションライター・『こんな夜更けにバナナ
 かよ』の著者）

下段中央…参議院議員 船後靖彦さん

下段右…川口有美子さん（ALS/MNDサポートセンターさくら会・『逝
 かない身体—ALS的日常生活を生きる』の著者）

「クラウドファンディング×ビジネス活用実践編」に参加しました

さいとう やすお
齋藤 康雄

クラウドファンディングとは、^{くんしゅう}群衆 (crowd) と ^{しきんちょうたつ}資金調達 (funding) を ^{く あ}組み合わせた ^{そうご}造語で、^{ふとくていたすう}不特定多数の人が ^{ひと つうじょう}通常インターネット ^{けいゆ}経路で ^{ほか}他の人々や ^{ひとびと}組織に ^{そしき}財源の ^{ざいげん}提供や ^{ていきょう}協力などを ^{きょうりょく}行うことを言います。
^{はこいし}箱石さんの ^{しよせき}書籍もこのクラウドファンディングでの ^{きふ}寄付で ^{ほん}本を ^{つく}作りました。

^{さくねん}昨年は、^{けんちょう}県庁で ^{おこな}行いましたが、^{ことし}今年には ^{かいさい}オンライン開催でした。^{じむしょ}事務所に ^{さんか}いながら参加できますが、^{じかん}時間が ^{すぎ}過ぎて、^{ちこく}あ！遅刻ということも…

○クラウドファンディングには「^{ぶん}3分の1の^{ほうそく}法則」があるようです。

- ^{じぶん}自分の ^{ゆうじん}友人・^{ちじん}知人からの ^{しえん}支援が 1/3
- ^{ゆうじん}友人・^{ちじん}知人の ^{とも}友だちからの ^{しえん}支援が 1/3
- ^しまったく ^{ひと}知らない人からの ^{しえん}支援が 1/3

○スタートダッシュが大切で、^{たいせつ}公開日に ^{こうかいび}寄付が ^な無いと ^{むずか}難しいようです。

その ^{とき}時に、^{かた}2/3の方が ^{きふ}寄付されるのでしょね。

○^{きふ}寄付される方が、^{かた}寄付したい ^{きかく}企画か？

^{ある}或いは ^{こうきょうせい}公共性があるのか、^{せいこう}が成功の ^{かぎ}カギのようです。

○^{もくひょうきんがく}目標金額が ^{てきせつ}適切か？ ^{きふ}寄付される方は ^{かた}5千円、^{せんえん}1万円が ^{まんえん}多いようです。

など、クラウドファンディングについていろいろと ^{まな}学びました。

でも、^{けん}県で ^{きかく}このような企画を ^{おも}するとは思わなかった (^◇^)



とちぎ福祉プラザに納品してきました

12月5日、とちぎ福祉プラザに
多機能型事業所はーとで製作した品物を
納品してきました。クリスマスツリー、
マスク、マスクフックをおかせて頂いて
います。一生懸命製作しました！
宇都宮市役所のわくわくUショップでも
販売しています。良かったら是非
お求めください。



缶バッチの販売始めました

新型コロナウイルスの感染が続く中、咳き込
む度に周囲の目が気になります。そこで厄除
け、喘息や花粉症であることを知らせる缶バッ
チを制作しました。宇都宮市役所のわくわくU
ショップでも販売しています。

このような時だからこそ、お互いに優しさ
思いやりを持って新型コロナウイルスを乗り越えましょう！！



はこいし すてき ほん かんせい
箱石さんの素敵な本が完成♪

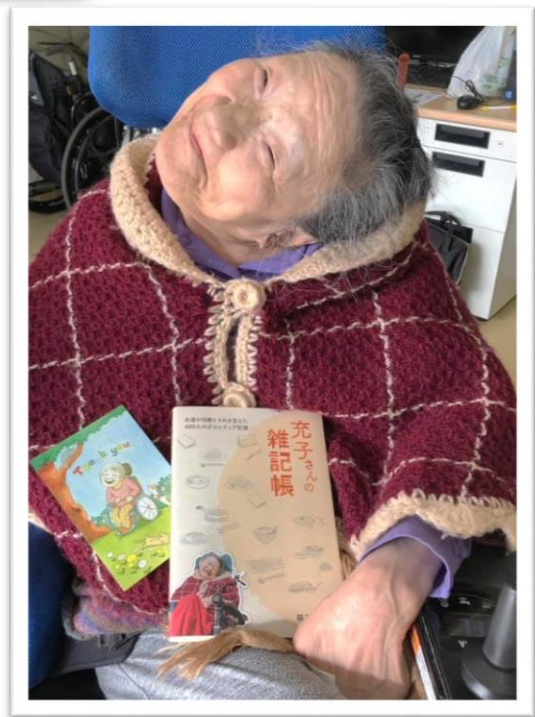
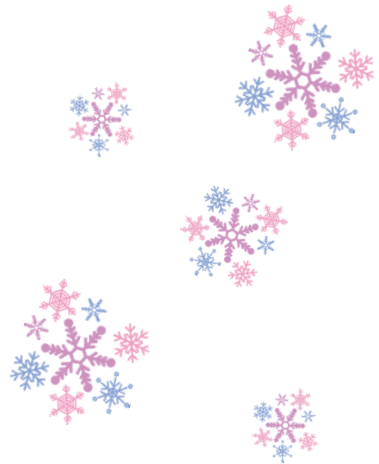
12月、箱石さんの素敵な本が完成しました！

箱石さんの宝物でもある学生ボランティアさんの日記帳をもとにボランティアさんとのエピソードや想いを一冊にまとめた本です。

気になる方、お求めになりたい方は下記までご連絡ください☆

*メール ciltochigi@silver.plala.or.jp

*電話/FAX 028-638-2538



防護服を寄付させて頂きました

さいとう やすお
齋藤 康雄

じりつせいかつ さくねん はし うつのみやしほけんじょ ぼうごふく ほか
自立生活センターとちぎでは昨年の初めに宇都宮市保健所に防護服を他
しゅうろうけいそく じぎょうしょ いっしょ のうひん
の就労継続の事業所さんと一緒に納品しました。

また、医療機関等で防護服を手作りで作ったり、寄付されたりしている
ということを知り、我々でも何か協力できることは無いかということ
で、一度作ったことのある防護服を送ろうということになり、真岡西部ク
リニックの趙先生と試作を作りやり取りをして、利用できるところまで完
成しました。

12月23日に北海道の福祉事業所さんへ防護服100枚を寄付させて
頂きました。少しでもお役に立てればと思っています。

まだまだ、新型コロナウイルスの感染がおさまりませんが、気をつけて
生活して乗り越えられたらと思います。

医療、介護の職員さんの最前線の方々が大変にならないように一人一人
が感染しないような行動をとって行きたいですね。



台湾で見たバリアフリー

さとう あやか
佐藤 綾香

台湾で約10ヶ月留学をしておしました、佐藤綾香です。私が台湾に来てから驚いたことは台湾の街を歩いていると、日本にいるとき以上に車いすで行動をしている方々を見かけたことです。

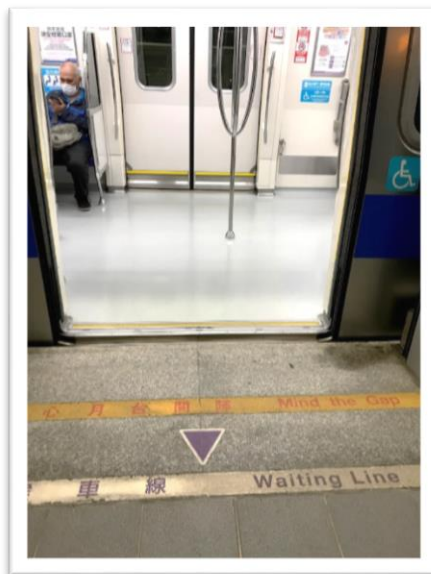
さらに、道ばたでは車いすに乗って宝くじや果物などを売り商売を営んでいました。台湾人の友人に聞くと、行政による障害を持つ方への金銭的

な支援は台湾でも行われてはいるそうです。そのお金では足りているのか詳細は分かりませんが、日本ではあまり見かけない光景で衝撃を受けました。

そんな台湾では、車いすに乗っている方々でも街で快適に移動や買い物ができるようにバリアフリーが進んでいるように思いました。今回は、そんな台湾のバリアフリーについて、電車・バス・お店の場面でご紹介したいと思います。

台湾には新幹線と普通の駅（台湾鉄道）と地下鉄（MRT）があります。このどちらにも、もちろんエレベーターがあります。ホームを見ると、普通列車は日本ほど駅と列車の間に隙間はないのですが、車いすの方が電車に乗る際には駅員が板を持って手伝いに来ます。

一方、新幹線と地下鉄のホームでは、ホームと電車の段差も隙間もほとんどなく、駅員がいなくても車いすの人が自力で電車から乗り降りしていた光景を見かけました。また、地下鉄のホームと電車の間に扉が着いて



いるため人身事故が起きることもなく
転落事故を防ぐ工夫もなされていました。

台北駅から新幹線に乗る際、駅に入
ってすぐのところにエレベーターがあ
り、ホームまで直通で行くことがで
きます。電車の中には、車いすの方
のスペースも確保されていました。

同様にバスでもスペースが確保され
ており、固定するベルトなどもありま
した。



しかし、全てのバスがノンステップで車いす対応ではなく、町の中を走
るバスは対応していますが、高速道路もまたいで走るバスは対応が進んで
いない状態が見受けられました。対応しているバスの運転手は、車いす
の乗客を見かけるとバスの車高を下げて、バスから降りてスロープを出
して、車いすを押し乗車の手伝いをしていました。また、バスのアプ
リを使い、バスのGPSや時刻表を見ると車いす対応にはマークがついて
いるので、それを見れば次のバスが車いす対応のバスなのかを判断するこ
とができます。

都市の街の中を歩いていると、お店の入り口と歩道の間に段差があると



ころでは、付近の壁に車いすの目線
の位置で、「ご来店の際は、インター
フォンを押してください。係の者が
伺います。」と中国語で書かれたイ
ンターフォンがありました。

また町中ではベトナムやインドネ

シアなど東南アジアの方が
 介護に携わり、台湾人の方が
 の乗った車いすを押し散歩を
 する姿をよく見かけました。

台湾では、日本と比較して
 バリアフリーが進んでいるの
 で、コロナが落ち着いたら、
 ぜひ台湾に足を運んでみてください！！



GPSで現在の場所がわかる。

私が赤枠のところで3分後に
 来るバスを待っていて、そのバ
 スはまもなく大同小学校に
 到着するという場面です。





きいろ ふる でんしゃ
黄色い古い電車は、
スロープを^{つか}使うタイプ

「自立で愉快だ宇都宮」ロゴマークの申請が通りました

うつのみやゆかい ロゴは、うつのみやし ゆた たの ひょうげん
宇都宮愉快ロゴは、宇都宮市の豊かさや楽しさを表現したブランドメッ
セージ「住めば愉快だ宇都宮」をもっとみんなに知ってもらうために、市内
しがい と げんき きぎょう だんたい りよう
市外を問わず元気な企業・団体に利用し
てもらおうプロジェクトです。

じりつせいかつ じゅうど
自立生活センターとちぎでも、重度の
しょうがい ちいき じりつ せいかつ
障害があっても地域で自立した生活が
できるように「自立で愉快だ宇都宮」ロ
ゴにしてみました。

これからもみんなで^{うつのみや げんき}宇都宮を元気に、
^{せいかつ かんきょう}生活しやすい環境にしていきましょ
う！！



き かん し こうどく かい いん ぼし ゆう ちゅう 機関誌購読会員募集中

じりつせいかつ きかんし ねん かい はっこう こうどく
自立生活センターとちぎの機関誌（年3回発行）の購読をしてくれる
かい いん ぼし ゆう かい いん どうろく かた
会員を募集しています。会員として登録してくれた方には、CILとち
ぎのさまざまなイベントのご案内もいたします。 年会費 300円